

2014年12月期 第3四半期 決算説明資料

カルナバイオサイエンス株式会社



証券コード : 4572

- ✓売上高は、対前年同期比 17.9%減（対前年同期比100百万円減）
- ✓営業損益は、売上減、売上原価率上昇、研究開発費増等により、対前年同期比 200百万円の悪化

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業損益 | 経常損益 | 当期純損益 |
|----------------------|--------|------|------|-------|
| 2014年12月期第3四半期実績 (a) | 460 | △411 | △388 | △390 |
| 2013年12月期第3四半期実績 (b) | 560 | △210 | △191 | △195 |
| 対前年同期比 (c)=(a)-(b) | △100 | △200 | △197 | △194 |
| 対前年同期増減率 (d)=(c)/(b) | △17.9% | — | — | — |

(注1) 百万円未満は切り捨てして表示しております。

(注2) 対前年同期増減率における、「営業損益」「経常損益」「当期純損益」の値はそれぞれ損失を計上しているため数値を表示しておりません。

(注3) 2014年12月期の創薬事業及び全社の計画値は公表しておりません。詳細は平成25年12月期決算短信をご参照ください。

第3四半期 事業別業績の概況



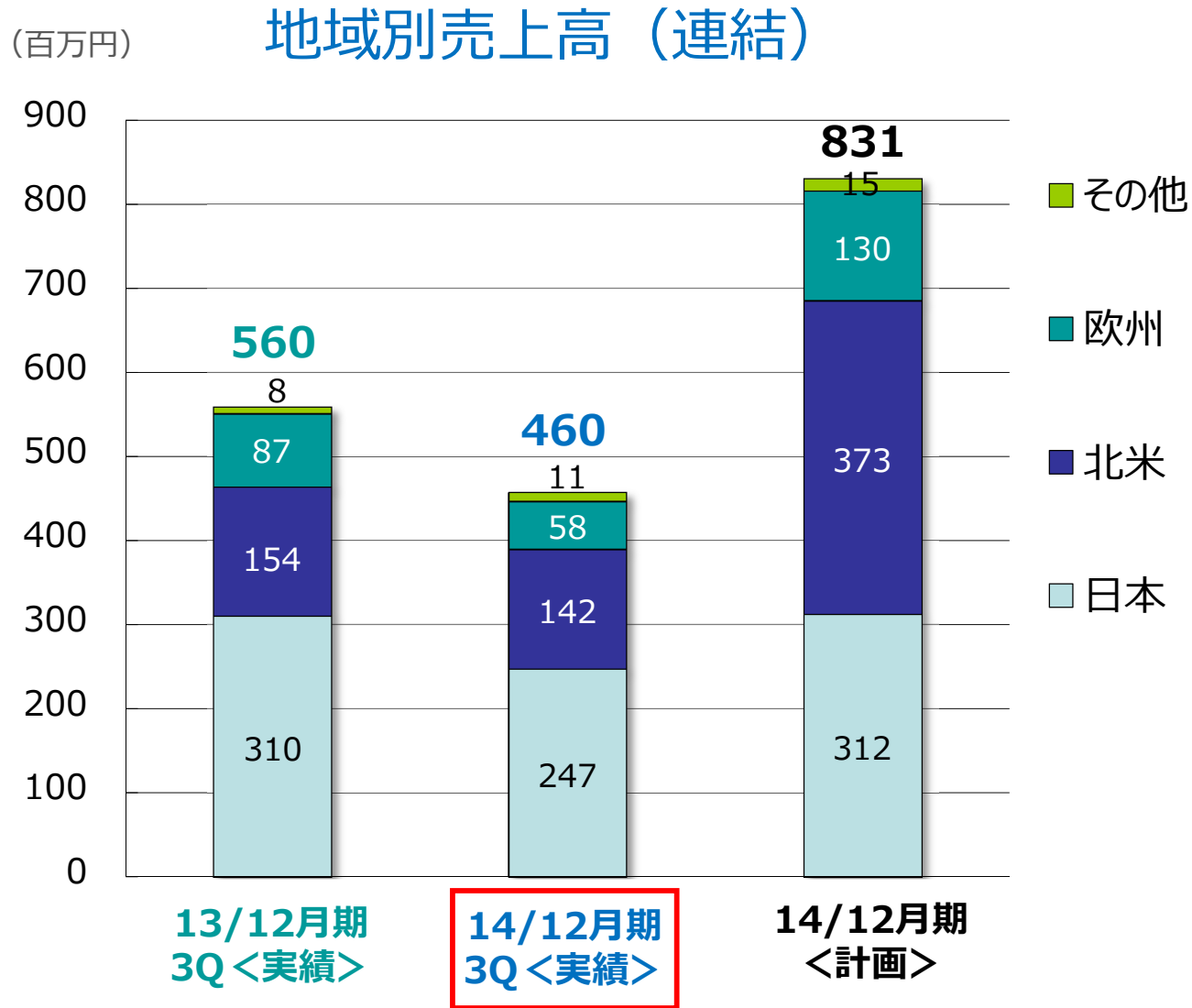
(単位：百万円)

| | 売上高 | | | 営業損益 | | |
|--------------------------|--------|------|--------|--------|------|------|
| | 創薬支援事業 | 創薬事業 | 計 | 創薬支援事業 | 創薬事業 | 計 |
| 2014年12月期 第3四半期実績 (a) | 460 | — | 460 | 51 | △462 | △411 |
| 2013年12月期 第3四半期実績 (b) | 560 | — | 560 | 196 | △407 | △210 |
| 対前年同期比 (c)=(a)-(b) | △100 | — | △100 | △145 | △55 | △200 |
| 対前年同期増減率 (d)=(c)/(b) | △17.9% | — | △17.9% | △73.9% | — | — |
| 2014年12月期 通期計画 (e) | 831 | | | 191 | | |
| 通期計画に対する 進捗率 (%) | 55.4% | | | 26.8% | | |

(注1) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(注2) 創薬支援事業の当期通期計画値は、2014年2月7日発表の通期計画に基づいております。なお、2014年12月期の創薬事業及び全社の計画値は公表しておりません。詳細は平成25年12月期決算短信をご参照ください。

第3四半期 地域別売上高(創薬支援事業)



創薬支援全体の売上は
前年同期比 17.9%減

・**国内**は前年同期比 20.2%減
⇒小野薬品工業からの大規模スクリーニングサービスの完了
⇒アッセイ開発、セルベースアッセイサービスが好調

・**北米**は前年同期比 7.5%減
⇒セルベースアッセイサービスが好調
⇒大型スクリーニングサービス受注の遅れ

・**欧州**は前年同期比 32.9%減
⇒キナーゼタンパク質、アッセイ開発売上低迷
⇒セルベースアッセイは順調

・**その他**は前年同期比 33.8%増
⇒タンパク販売の持ち直し
⇒セルベースアッセイ今期より売上計上

(注1)：為替レートは期中平均レートを表示しております。

(注2)：顧客数は各累計期間において売上を計上した顧客数を表示しております。また、同一顧客に対して複数回売上が計上された場合も1顧客として計算しております。

| | | | | |
|--------------|--------|----------------|--------|------|
| 為替レート(US\$): | 96.84円 | 102.94円 | 98.00円 | (注1) |
| 海外売上比率: | 44.7% | 46.2% | 62.4% | |
| 顧客数: | 195社 | 184社 | | (注2) |

研究開発費および設備投資について



(単位：百万円)

| | | 2014年12月期 第3四半期累計 | 2013年12月期 第3四半期累計 | 2013年12月期 通期 |
|----------|--------|----------------------|----------------------|-----------------|
| 研究開発費 | 創薬支援事業 | 19 | 3 | 9 |
| | 創薬事業 | 349 | 308 | 414 |
| | 計 | 369 | 312 | 423 |
| 設備投資 | | 43 | 6 | 7 |
| 期末人員（連結） | | 49人 | 54人 | 52人 |

(内訳)

研究開発費：化合物の最適化研究や医薬品として適した特性を評価する試験（薬物動態試験等）の外部委託、前臨床試験の外注並びに創薬基盤技術の強化

設備投資：受託試験用機器、研究開発用の研究機器等

バランスシート状況 (連結)



(単位：百万円)

| | 2014年12月期 第3四半期末 | 2013年12月末 | 増減額 | 増減理由 |
|--------------|---------------------|-----------|------|-----------------------------------|
| 流動資産 | 1,049 | 1,361 | △311 | |
| 現金及び預金 | 803 | 1,067 | △264 | |
| その他 | 246 | 293 | △46 | 売掛金減、前払費用減等 |
| 固定資産 | 597 | 527 | 69 | 受託試験用機器購入、のれん償却、クリスタルゲノミクス社株式評価増等 |
| 資産合計 | 1,647 | 1,888 | △241 | |
| 流動負債 | 127 | 129 | △2 | 1年内長期借入金増、未払金減、預り金増、その他流動負債減等 |
| 固定負債 | 215 | 161 | 54 | 長期借入金増、繰延税金負債増等 |
| 負債合計 | 343 | 291 | 51 | |
| 純資産合計 | 1,304 | 1,597 | △293 | |
| 負債・純資産合計 | 1,647 | 1,888 | △241 | |
| 自己資本比率 | 78.6% | 84.1% | | |
| 一株当たり純資産 | 156.83円 | 193.33円 | | |
| PBR(株価純資産倍率) | 5.62倍 | 3.84倍 | | |
| (参考) 当社株価 | 882円 | 742円 | | |

(注1) 当社株価はJASDAQグロースにおける終値に基づく。

(注2) 株価および1株当たり情報は、平成26年1月1日を効力発生日とする株式分割を反映した数値です。

- TNIKキナーゼ阻害剤に係る特許庁（日本）からの特許査定通知の受領（7月）
- TNIKキナーゼを標的とした大腸がん治療薬の開発テーマが、独立行政法人 医薬基盤研究所の創薬総合支援事業「創薬ブースター」のテーマに採択（8月）
- 第14回新株予約権の行使（46,100株 資金調達額43,103千円）（8月）

10月以降

- CDC7/ASKキナーゼ阻害薬に係る特許庁（日本）からの特許査定通知の受領（10月）

(創薬支援事業)

- ▶ オンリーワン技術にもとづくサービスであるRPPA（リン酸化シグナルの網羅的解析サービス）、米国ACD社、米国CAI社、オランダNTRC社などのがんセルライン、セルベースアッセイ等の売上が引き続き堅調に推移。
- ▶ 北米地域での売上拡大が課題（顧客の研究開発トレンドの把握、大口～中型のキナーゼスクリーニングサービス受注の獲得）。
- ▶ 学術サポートの強化。
- ▶ セルベースアッセイサービスを組み合わせたソリューションとして提供する体制の構築により売上拡大を目指す。

(創薬事業)

- 重点疾患領域は「ガン」と「免疫炎症疾患」とする。
- 前臨床研究の推進
 - CDC7阻害薬
第2四半期に、SBIバイオテック株式会社から本プログラムに係る権利を取得し、当第3四半期では、前臨床研究に必要な試験および更なる薬理評価を実施。
 - TNIK阻害薬
独立行政法人 医薬基盤研究所の創薬総合支援事業「創薬ブースター」の支援課題に採択され、創薬支援戦略室が中心となり、本化合物の前臨床研究を推進中。
 - BTK阻害薬
自社単独研究テーマとして、前臨床研究を着々と推進中。

(創薬事業)

➤ その他の主な研究テーマ

- 金沢大学がん進展研究所との共同研究

得られたヒット化合物からリード化合物の創出に成功し、順調にヒット化合物を基に化合物の最適化を推進中。

- ラクオリア創薬との共同研究

キナーゼを標的とした同社との創薬研究を共同で推進中。

- 北里大学北里生命科学研究所との共同研究

新規マラリア治療薬が研究テーマであり、独立行政法人 科学技術振興機構の研究成果最適展開支援事業「A-STEP」の補助金事業として推進中。

- DYRK1Aキナーゼ

神経変性疾患が適応疾患。キノファーマとの共同研究テーマとして推進中。

今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



カルナ《CARNA》は、ローマ神話に登場する人間の健康を守る女神で、cardiac（心臓）の語源とも言われています。バイオサイエンス《BIOSCIENCES》は、生物科学と言われ、生物学（Biology）と生命科学（Life Science）から、つくられた言葉です。「生命科学の世紀」とも言われる21世紀に向けて、カルナバイオサイエンス社とともに新しい女神“カルナ”が誕生しました

カルナバイオサイエンス株式会社

経営管理本部 経営企画部

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-5 BMA3F

Tel (078) 302-7075 Fax (078) 302-6665

<http://www.carnabio.com/>

ir-team@carnabio.com

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。